

糖尿病透析患者において透析間体重増加を抑制できる可能性の

ある薬剤 - リラゲルチド (Lira) とミグリトール (Mig)

長崎腎病院

○川口利江 白井美千代 丸山祐子 船越 哲 原田孝司 小嶺真耶
中島ゆかり 矢野未来 江藤りか

【背景】

近年臨床使用されるようになったインクレチン製剤や α GI は、食物の胃内停滞時間を延長させ、飲水コントロール困難の透析患者の体重増加改善に寄与できる可能性がある。

【目的・方法】

糖尿病透析患者における GLP-1 受容体作動薬 Lira、また α GI である Mig の透析間体重増加抑制効果を検討する。

【対象】

A 群；インスリンから Lira 皮下注に変更した 4 例、B 群；ボグリボースから Mig 内服に変更した 18 例。

【結果】

A 群では変更 2 週間まで透析間体重増加は 50%まで激減したが、その後上昇し、8 週間目にはほぼ変更前値となった。B 群では変更 6 週間まで増加はゆるやかに 30%減少し、その後徐々に上昇しているが、変更前値までは至っていない。

【考察】

透析間体重増加の大きい患者において、Lira と Mig の増加抑制効果が示された。Lira で早期にこの効果が減弱したことは、tachyphylaxis の関与が考えられた。